

pに従う確率変数  $X_i$  をパラメータとして定まる関数の期待値を計算する。

$$\mathbb{E}[f(X_1, X_2, \dots, X_n)] = \int_{\Omega} f(x_1, x_2, \dots, x_n) p(x_1, x_2, \dots, x_n) dx_1 dx_2 \dots dx_n$$

確率変数は、 $x_i$  という値として決まってはいるが、期待値を計算する積分の中では  $x_i$  という積分変数として動くようになることがポイント。

#### Ex. モンテカルロ積分

モンテカルロ積分の期待値はもとの積分に一致する。

$$I_n := \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n \frac{f(x_i)}{p(x_i)}$$

$$\mathbb{E}[I_n] = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n \int_{\Omega} \frac{f(x)}{p(x)} p(x) dx = \int_{\Omega} f(x) dx = I$$

#### Ex. ニューラルネット

他の独立変数を含んだ例（積分変換）。

$$g_n(\mathbf{x}) := \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n c(\mathbf{a}_i, b_i) \phi(\mathbf{a}_i \cdot \mathbf{x} - b_i)$$

$$\begin{aligned} \mathbb{E}[g_n(\mathbf{x})] &= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n \int_{\Omega} c(\mathbf{a}, b) \phi(\mathbf{a} \cdot \mathbf{x} - b) p(\mathbf{a}, b) d\mathbf{a} db \\ &= \int_{\Omega} c(\mathbf{a}, b) \phi(\mathbf{a} \cdot \mathbf{x} - b) p(\mathbf{a}, b) d\mathbf{a} db = f(\mathbf{x}) \end{aligned}$$